

折に触れ 四字熟語

NO. 240 『気炎万丈』 きえん ばんじょう

< 意味 > 意気込みが他を圧倒するほど盛んであること。多くは意気込み盛んな談論についていう。

表 言 : 気炎万丈の議論

用 例 : 左様サ、我輩は兩三日前に会ったがその時は大得意で気炎万丈だったが、馬鹿な奴サ、家も滞っているくせに新しい洋服を算段して綱曳で奔走してやがる。

<内田魯庵・社会百面相>

語 釈 : 「気炎」は炎が燃え上がるように盛んな氣勢。意気込み。「万丈」は非常に高いこと。「丈」は長さの単位。氣勢を上げるのを高く燃え上がる炎にたとえたもの。「炎」は「焰」とも書く。

一 言 : サッカー第22回ワールドカップサッカーで、日本チームがドイツ、スペインに勝ったとき、長友選手が「ブラボー！」を連呼していました。あれこそ「気炎万丈」と言えないでしょうか。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」